

# 中学校第2学年 国語科 学習指導案

期 日 平成23年9月29日(木)第5校時  
場 所 八代市立第四中学校 2年3組教室  
指導者 教諭 野田 貢一

## 1 単元名

「事実と意見」 教材「モアイは語る——地球の未来」(光村図書2年)  
「根拠を明らかにして書こう」 意見を伝える

## 2 単元について

### (1) 単元観

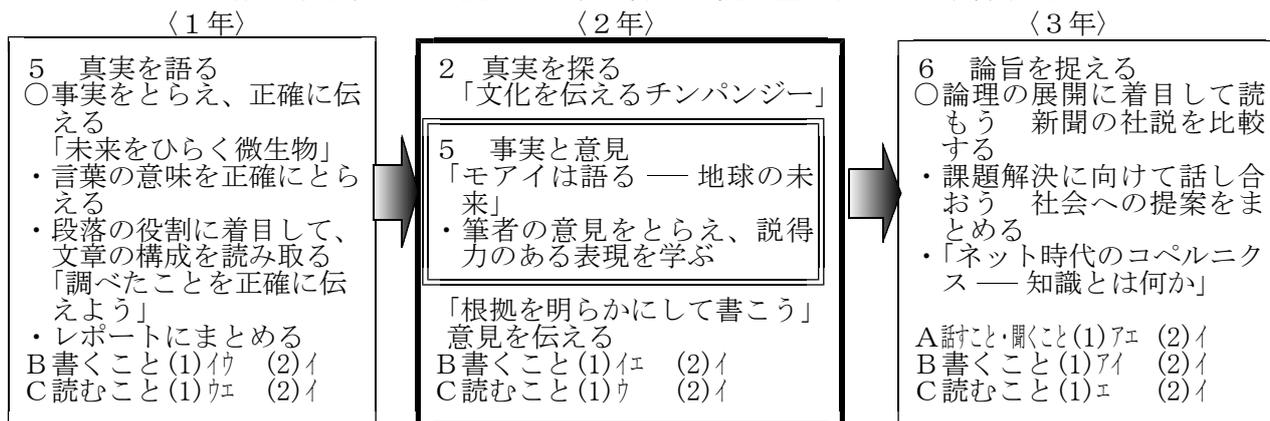
現代社会において、私たちは、地球環境保全の一つとして、「森林資源を大切にしなければならない」という意識を確かなものとしてもち得ている。『モアイは語る——地球の未来』では、その周知の立場を、筆者は、極小の島「イースター島」の歴史をもとに、説得力のある内容や構成をもって提供している。筆者が最終的に述べたいことは、森林を効率的に利用することの必然性であり、それ自体は特に目新しいものではない。しかし、重要なことは筆者の主張を、自身が調査したことで解明できた事実等を根拠として述べている点である。このことから、根拠となる事実をもとに、効果的な文章構成を用いて表現することにより、内容に説得力が増すことを学ぶことができる。

本単元は、新学習指導要領「B 書くこと」の指導事項「イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること」と、「C 読むこと」の指導事項「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること」とを関連付けることにより、効果的な学習を行うことを意図する。

その際、「B 書くこと」の言語活動例「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章」を書くことと、「C 読むこと」の言語活動例「イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」を組み合わせ、学習の過程が生徒自身にとって課題解決の過程となるように言語活動を位置付けて指導する。これによって思考力、判断力、表現力等の育成を図ることができると考える。

### (2) 系統観

(段落や文章構成を学び、文章を読み取り、自分の表現に生かすための学習系統)



### (3) 生徒観

「ゆうチャレンジ単元別評価問題」(「ハチドリ不思議」東京書籍・1年)を用いたレディネステストの結果は次のとおりである。なお、本評価問題のねらいは、「説明的な文章を読んで、目的や必要に応じて要旨をとらえ、文章の構成や展開について考えを持つ力を身につける」ことである。

- ①知識や経験と関連づけて自分の考えを持つこと。(関心・意欲・態度) …74.3%
- ②知識や経験と関連づけて自分の考えを持つこと。(読むこと) …69.3%
- ③文章の展開に即して内容をとらえること。(読むこと) …62.4%
- ④文章の構成や展開を正確にとらえ、自分の表現に役立てること。(読むこと) …56.0%

このことから、6割以上の生徒が文章の内容を読み取ったり、知識や経験と関連付けて自分の考えを持つたりすることができている。しかし、文章構成や展開を正確にとらえ、自分の表現に役立てることは得点率が低くなっている。生徒の記述を見ても、構成を正確にとらえていなかったり、話題提示のみを書いていたたり、表記に関して書いていたりして、自分の表現に生かす前に表現の仕方について理解が必要であることがうかがえる。

さらに、質問紙による調査の結果からは、自分の考えをうまくまとめられなかったり、伝えられなくて困ったりした経験を持っている生徒が7割以上に達した。このことは、その状況を克服したいという願いが込められたものだと考えている。その一方で、友だちの考えを聞いて、「なるほど」「すごいなあ」と感じた経験がある生徒は、9割以上を占めており、思考や表現の共有化を図る場面の設定が有効であることがうかがえる。しかしながら、思いや考えを積極的に表現しようとする生徒が固定化されつつあり、それを打開するためにも教師の働きかけが重要な役割を担っていると考える。

(4) 指導観

- 単元を通して、「説得力のある文章」について考え、自分でも説得力のある意見文を書くことを意識させる。
- 考えたことを文章で表現する場を適宜設定し、自己の考えを客観性を持ってとらえさせるとともに、思考と表現のつながりの意識化を図る。その際に根拠を示すことを大切にさせる。
- 文章構成をとらえやすくするために、学習シートを活用する。
- 筆者の主張をとらえるために、「事実」と「意見」を意識しながら読み取らせる。
- 意見交換の場を多く設定し、考えの共有化を図りながら、自己の考えを深めたり、表現に生かしていこうとする態度を高める。

Aプロジェクト	思考力、判断力、表現力等の育成の視点から
<p>本単元で高める思考力、判断力、表現力等とは、自分の立場を明確にして、根拠を明らかにしながら、説得力のある文章を書くことができる力ととらえる。この書く能力を高めるために、筆者の主張が説得力を持つ理由を考え発表させる等の言語活動を行うことにより、読み手を納得させるには文章中に述べられている根拠が重要であることに気付かせる。説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる能力と、同意を得られるような根拠を挙げながら自分の意見を述べようとする態度を育てたい。</p>	

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎文章中に述べられている事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取ることができる。</li> <li>◎段落に着目し、文章の構成をとらえることができる。</li> <li>◎自分の立場を明確にして、相手を納得させるための根拠を示し、意見文を書くことができる。</li> <li>◎分かりやすい構成を考えて文章にまとめることができる。</li> </ul>
単元を貫く言語活動（書くこと）	根拠を明確にして、説得力のある意見文を書く。
言語活動（「読むこと」）	説明的な文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる。
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>①説明的な文章を読んで内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。</li> <li>②自分の立場や意見が読み手に伝わるように、根拠を明らかにして書こうとしている。</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の立場や意見を明らかにして、それを表明する部分を文章のどこに置くかについて考えている。</li> <li>②意見と根拠の関係、文や段落のつながりなどに注意して、読み手に伝わりやすい文章にしている。</li> </ul>
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>①説明的な文章を読んで自分の考えを述べるために、各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえたり、叙述の順序に注意して読んだりして、内容の理解に役立てている。</li> <li>②説明的な文章を読んで、文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えを持っている。</li> </ul>
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>①説明的な文章を読む際に、意味の取りにくい文について、主語と述語の照応、修飾語と被修飾語の照応を明らかにしながら理解している。</li> <li>②自分の考えを明確に表現するために、辞書を活用するなどして、言葉の意味を吟味しながら文章を書いている。</li> <li>③読み手に自分の考えやその根拠などが効果的に伝わるように文章の展開を工夫している。</li> </ul>

4 指導・評価の計画（9時間取扱い 本時4／9）

次時	学習活動	指導上の留意点 ※Aプロジェクトの視点から	評価基準(基準B) (評価方法)
単元を貫く言語活動:根拠を明確にして、説得力のある意見文を書く。			
1	○単元の学習目標を知る。 ○文章を読み、文章の構成を考える。	・文章が3つのまとまりから構成されていることをおさえ、自分なりの考え(根拠)を持って分けさせる。	<b>関心・意欲・態度①</b> (ノート) ○根拠を持って、文章を3つのまとまりに分けようとしている。
2	○文章の構成を確認する。 ○序論(第一のまとまり)の内容をとらえる。	・根拠を出し合いながら文章の構成を確認させる。 ・問題提起の内容をとらえさせる。 <b>※文章の構成についての自分の考えとそう考える理由を話し合わせる。</b>	<b>読む能力①</b> (発言・ワークシート) ○意見交換をもとにしながら、文章構成をとらえている。 ○文末表現をもとに問題提起の内容をとらえている。
	○本論(第二のまとまり)から、筆者の意見やそのことに対する事実や根拠を読み取る。	・ワークシートを用いて、4つの問いに対する答えを、事実となる根拠をもとにとらえさせる。 <b>※問題提起の提示の仕方や、答えの書き方に対する自分の考えをまとめさせる。</b>	<b>読む能力①</b> (ワークシート) ○問題提起に対する筆者の意見を事実となる根拠と結びつけながら読み取っている。 <b>言語についての知識・理解・技能①</b> (ワークシート) ○文章を理解しながら読んでいる。
3 (本時)	○結論(第三のまとまり)の内容を、筆者の主張に結びつく事実や根拠をもとにした意見から理解する。	・論の展開や表現の工夫などをもとにして、自分の考えをまとめさせる。 <b>※筆者の文章がなぜ説得力を持つのかを考えることで、説得力のある文章について考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。</b>	<b>読む能力②</b> (ワークシート) ○文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげ、考えをまとめている。 <b>関心・意欲・態度①</b> (ワークシート) ○説得力のある文章について、自分の考えをまとめようとしている。
4	○単元の学習目標や見通しを持つ。 ○テーマを設定し、その理由を明らかにする。	・テーマ設定については、時間を確保し、主体的に取り組めるものに絞らせる。 <b>※日常生活の中から学級で自分が主張したい課題について考えさせる。</b>	<b>関心・意欲・態度①</b> (ノート) ○学習の目標と見通しを持ち、主体的にテーマの設定に関わろうとしている。
5	○意見に対する根拠となる内容をまとめ、自分の立場を明らかにする。	・テーマに対して、「よい点」や「問題点」等の視点から根拠となる内容をまとめさせる。 ・自分の立場が肯定か否定かを決めさせる。	<b>書く能力①</b> (ワークシート) ○テーマに対する「よい点」と「問題点」の両方を複数考えている。 ○自分の立場を決め、それを明らかにする意見をまとめている。
	○意見をより説得力のあるものにする。	・個別の活動とグループ活動から、意見をより確かで、深まったものにする。 <b>※肯定か否定かの自分の立場を明</b>	<b>書く能力①</b> (ワークシート) ○自分の考えを、根拠を示しながらまとめている。 <b>言語についての知識・理解・技能①</b>

		らかにし、同意を得られる明確な根拠を探させる。	(ワークシート) ○言葉の意味を吟味しながら書いている。
8	○構成や内容を考えながら、600字～800字程度の意見文を書く。	・「はじめ」「なか」「おわり」の文章構成を意識させる。 ・文体や語句の用法、誤字・脱字などにも注意させる。 ※内容が説得力を持つように立場を明確にし、根拠を示したり構成を考えたりして意見文を書かせる。	書く能力② (ワークシート) ○これまでの学習や意見交換などを踏まえ、意見文を書いている。 言語についての知識・理解・技能② (ワークシート) ○文章の展開を工夫している。
6	9	○書いたものを他者と読み合い、相互評価を行い、今後の表現活動に活用する。	関心・意欲・態度① (ワークシート) ○自他の意見文に積極的に触れ、今後に生かす評価をしている。

## 5 本時の学習

### (1) 目標

筆者の主張が説得力を持つ理由について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。

### (2) 評価基準

関心・意欲・態度① (観察)

(基準B) 説得力のある文章について、自分の考えをまとめようとしている。

(基準A) 説得力のある文章について、根拠を明確にして自分の考えをまとめようとしている。

読む能力② (ワークシート)

(基準B) 文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげ、考えをまとめている。

(基準A) 文章の構成や展開および内容について、効果や整合性を持たせながら、考えをまとめている。

### (3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Aプロジェクトの視点から	備考
導入 10分	1 前時までの振り返りと本時の課題を確認する。【一斉】	○前の時間の学習内容を振り返りましょう。		ワークシート
	筆者の主張が説得力を持つ理由について考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめよう。			
展開 35分	2 学習課題に取り組む。 (1) 人口推計のグラフを見て、気付いたことを話し合う。【一斉】 (2) 第3のまとまりを読み、筆者の主張を確認する。【一斉】 (3) 課題に対しての自分なりの考えを持つ。【個人】	○グラフを見て気付いたことを発表しよう。 ○この文章を通して、筆者が主張したいのはどんなことでしょうか。 ○筆者は、主張に説得力を持たせるために、どのような工夫をしているのでしょうか。	○積極的にグラフを見て考え、気付いたことを発表させる。 ※世界の人口増加の現状と本文との関わり合わせて考えさせる。 ○筆者の主張を含む第3のまとまりと第1、第2のまとまりの結びつきを押さえる。 ○説得力のある内容とは、自分の考えを無理に通すことではないことを押さえる。 ※筆者の文章がなぜ説得力を持つのかを考えることで、説得力のある文章について考えさせ	グラフ

	(4) 互いの考えを交流する。 【ペア】	○相手に伝わるように発表しましょう。	る。 【評価：読む能力②(ワークシート)】 <B基準に達しない生徒への手立て> ○自分が納得した内容について、その理由を考えさせる。 ○参考となる内容はメモをとらせ、学習の深まりや広がりを持たせる。 【評価：関心・意欲・態度①(観察)】 <B基準に達しない生徒への手立て> ○本時の振り返りをさせ、文章の展開や工夫について考えさせる。 ○発表や既習内容をもとに、ポイントを整理させる。
	3 学習の学びを確認する。 【一斉】	○「文化を伝えるチンパンジー」の内容も参考に、説得力のある文章についてのまとめをしましょう。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題提起</li> <li>・原因の解明</li> <li>・現状や解決策</li> <li>・図や写真</li> <li>・事実や根拠 など</li> </ul> <p>+</p> <p>文章の構成</p> </div> <p>※自分の意見文にどのような点を生かせるかを考える。</p>
整理 5分	4 次教材への見通しを持つ。 【一斉】	○次の学習の内容を見て、イメージを持ちましょう。	○今回の学習を生かした学習にしていくことを意識させる。